

学生が編集した千葉大学最初の「サステナビリティレポート」を発行 ～SDGs達成に向けた取り組みを充実掲載～

国立大学法人千葉大学では2004年度より毎年、環境ISO学生委員会が構成・取材・執筆・デザインの進行管理を担当して「環境報告書」を制作しています。本年度は「サステナビリティレポート」と名称を変更し、8月31日に「千葉大学サステナビリティレポート2019」を発行いたしました。

■学生がつくる千葉大学のサステナビリティレポートとは

千葉大学は国際規格ISO14001・50001を学生主体で取得、継続しており、その活動を学生の実務教育の機会ととらえているため、サステナビリティレポートについても、環境ISO学生委員会の学生が編集長・副編集長を務め、学生が手分けして原稿の構成・取材・執筆・校正を行って学生原案を作成しています。教職員の校正の後、デザイン専攻の学生がデザインを行い、学生委員会の編集部が進行管理を行うことで、約1年をかけて完成に至ります。**今年は16人の編集部、52人の執筆担当者、3人のデザイナーの計71人の学生が関わって制作しました。**

本レポートは冊子で発行したほか、大学webサイトにて本日公開しました。

本日公開した「千葉大学サステナビリティレポート2019」
<http://www.chiba-u.ac.jp/general/approach/environment>

■2019年版の特徴

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)を受け、環境に関する取り組みの報告だけでなくSDGsの達成に向けた取り組みの記載を充実させるべく、本年度より名称を「サステナビリティレポート」と変更いたしました。

作成にあたっては、読みやすさを重視し視覚化、簡潔な文章化を行ったのはもちろんのこと、読者の皆様に千葉大学のSDGsに対する取り組みが明確に分かるよう各ページにSDGsのアイコンを掲載いたしました。

2019年版表紙・裏表紙▶
SDGsのアイコンに基づいた17色を使用し、形の異なるブロックが上へと積み重なっている様子を表しています



■編集長のコメント

環境ISO学生委員会 サステナビリティレポート2019編集長 小出ひなた（園芸学部3年）

本レポートの作成を通じまして、多くの学生や教職員の方々にご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。構成から考えると約1年かけて作成いたしました。冊子の作成に深く関わらせていただいたことは大変なこともありました。貴重な経験となりました。本レポートが地域社会や関係者の方々・環境活動に従事する皆様に対するコミュニケーションツールとして、千葉大学の環境活動への理解を深めていただき、社会全体のSDGsの達成に向けた取り組みの促進に貢献できたら幸いです。

■千葉大学環境ISO学生委員会とは・・・2003年10月、千葉大学においてISO14001認証取得への動きが始まるとともに発足し、環境マネジメントシステムの構築・運用に貢献。現在では、学内の研修講師、目的目標実施計画の原案作成、内部監査、外部審査対応、環境報告書作成、省エネ省資源・緑化・堆肥化等の活動、地域との連携、学内への啓発活動などを担当。

本件に関するお問い合わせ：千葉大学環境ISO事務局
TEL:043-290-3572 メール：kankyo-iso@office.chiba-u.jp

■主な内容

はじめに

学長からのメッセージや千葉大学の特色でもある学生主体の環境マネジメントシステムの概要と成果など

第1章 総合大学としての特色を活かして～環境人材の育成～

環境に関する最先端の研究や教育、附属学校における環境教育など

第2章 サステナブルキャンパスを目指して～4つの柱で快適なキャンパスライフを～

「低炭素」「循環型」「自然共生」「安心安全」の4つの側面からの環境活動と成果、大学に関連する事業者の環境配慮活動について

第3章 千葉大学が誇る学生主体の環境活動～大学から、地域・社会・世界へ～

学生主体の活動、地域社会との交流、情報発信、日本から世界への飛躍、など

第4章 誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて～SDGsの社会的側面の取り組みについて～

男女共同参画推進、学生による学生支援、障害者雇用の取り組みについて、など

第5章 環境・エネルギーマネジメントシステムの運用状況

内部監査、目標の達成度評価、法規制の順守状況、物質収支、環境会計、など

環境報告書の基本項目

第三者意見、用語集、環境報告書ガイドライン対照表、編集後記

■デザインについて

千葉大学の環境報告書はデザイナーも学生が担っています。今年度は、大学院融合理工学府創成工学専攻デザインコースに所属する3名がデザインし、環境ISO学生委員会の編集部が進行管理・校正を行いました。

<デザイナーのコメント> :安藤菜摘、有働茉莉、彭子耘

「千葉大学サステナビリティレポート2019」では、千葉大学のSDGsへのさらなる貢献をデザインのテーマとしました。表紙はSDGsのアイコンに基づいた17色を使用し、形の異なるブロックが上へと積み重なっている様子は、さまざまな活動で目標を達成し、それらが積み重なり持続可能な社会が生まれることを表現しています。本文は表紙との統一感を出し、なおかつ見やすい見出しやダイアグラムのデザインを工夫しました。

